

第31回講演会

つくば発先端技術発表会

参加費無料

つくば市と産業技術総合研究所は、科学・技術に関する“日本の英知”が集積するつくばにおいて、研究シーズや事例の発表を通し、成果を社会へ還元すると共に、つくばの産業力強化・イノベーション創出を実現します。

今回は、

つくばグローバル・イノベーション推進機構、常陽銀行との共催、また、つくば研究支援センターの後援により「IoT」(Internet of Things)をキーワードに研究者お二人に将来展望や国内外の動向について講演していただきます。『イノベーション創出のフィールド』『技術開発の街』として、つくばの可能性を大いに感じていただきたいと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

会期 平成27年 **11/26** 木

●開演：15:00～17:30
(講演者との交流会を含む)

会場 **つくば市役所** 定員：100名

●講演会：2階 会議室201

講演 **澤田 浩之氏**

国立研究開発法人産業技術総合研究所 製造技術研究部門
(企画本部 総合企画室 総括企画主幹)

[テーマ]

IoTを巡る国内外の動向

IoTが次世代の産業・社会・経済の基幹インフラとして急速に進展しつつある中、これを単なる技術革新に留まらないビジネス環境の変化として捉え、製造業にとどまらず、サービス業も含めた幅広い分野で、新たな付加価値創出の枠組みを築き上げることが求められています。先行する米独の取り組み、並びに企業、学会、公的機関を含む国内の動向について紹介いたします。

大岩 寛氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所 情報技術研究部門
サイバーフィジカルウェア研究グループ 研究グループ長

[テーマ]

「一兆センサー時代」を見据えたIoTの将来展望と技術課題

家庭・工場・インフラなどに設置され、インターネットに接続されるセンサーの数は、様々な予測に依れば2030年には数百億～一兆のオーダーに達すると予測されています。5年後の社会を見据え、IoTは今後どのような発展を遂げていくのか、どのような課題を解決していく必要があるのかについて、技術者の立場から見た展望をお話しいたします。

